

自発的な健康づくりを促す 対話の秘訣とポイントセミナー

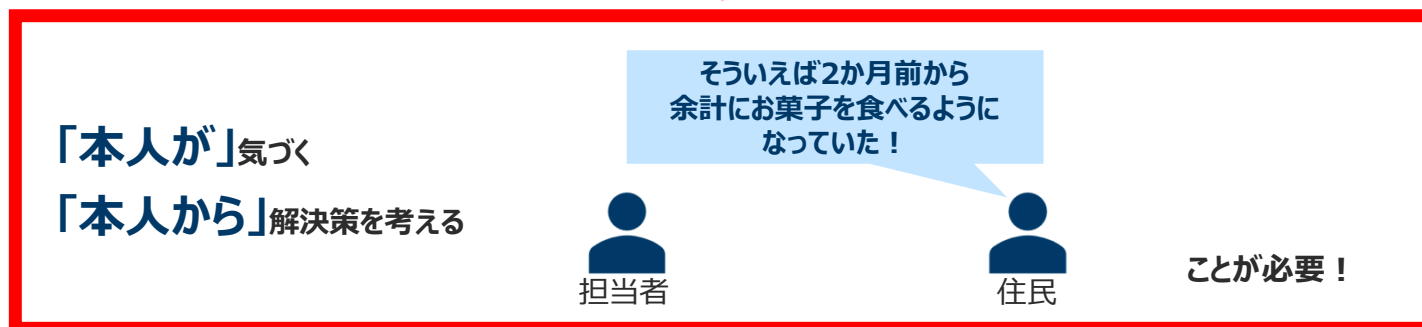
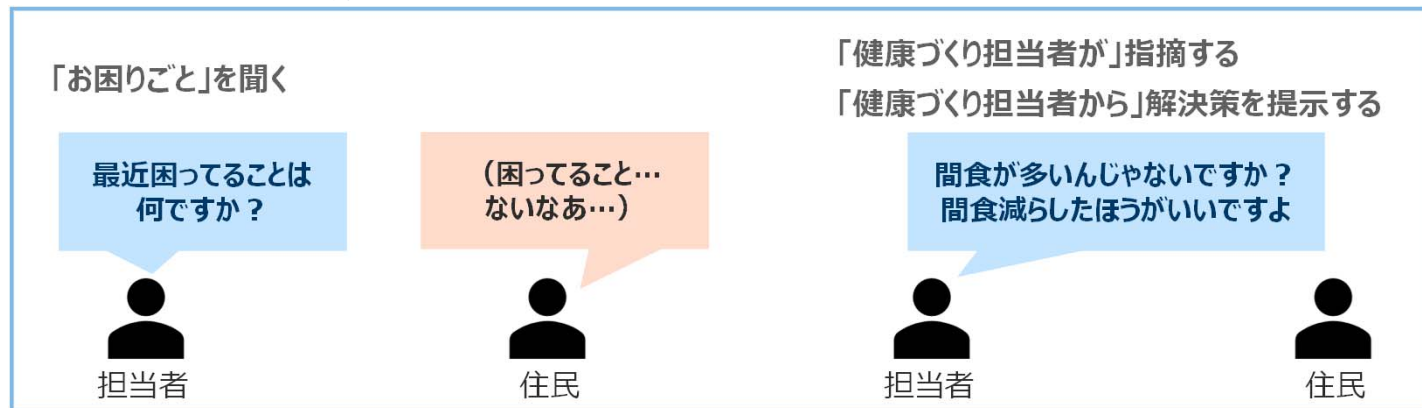
近年の健康づくり施策においては、地域住民が健康サービスの受け手ではなく、自発的な健康づくりを行う主体として位置づけられています。それに伴い、保健師をはじめとする自治体などの健康指導実施者にも、住民が主体的に行動するような働きかけが求められるようになってきました。そのためには当事者が自ら問題に気づき、解決策を考えることが必要ですが、コミュニケーション手法については十分に普及しているとは言えない状況です。

今回、厚生労働省の健康づくり支援の情報サイトである、e-健康づくりネット (<https://e-kennet.mhlw.go.jp/>) では、当事者参加型コミュニケーション手法に着目し「自発的な健康づくりを促す対話の秘訣とポイント」というテキストを作成致しました。

本セミナーでは、健康指導実施者が住民と信頼関係を構築しながら、自発的な健康づくりを促すための手法を体系化し、実践されている専門の先生をお招きしております。実際にテキストを用いて、質問等を交えながらセミナーに参加していただくことにより、より一層、理解が深まるものと思います。是非この機会をご利用頂き、より効果的な健康指導にお役立て下さい。

※本研修は厚生労働省委託事業「地域健康政策推進のためのプラットフォーム作成等一式」の一環として、株式会社日本総合研究所により実施するものです。

「自発的な」健康づくりを支援するために…



お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 担当：山本、望月
〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング
Tel : 080-9674-1839 メール : un_4837.group@jri.co.jp



日時 2023年2月20日 13:00-15:00

開催方式 オンライン開催（zoomでの実施）

参加費	無料
対象	自治体で健康指導を実施されている方
定員	50名
申込	事前登録制となりますので、2月17日までに申込サイトより必要事項を記入しお申込み下さい（申込が大幅に定員を超過した場合、期日前に募集を締め切る可能性があります）。 https://www.jri.co.jp/seminar/230220_596/detail/ 応募数が定員を上回った場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承ください。 お申込みいただいた方には、後日、オンライン研修へのアクセス方法等についてご連絡差し上げます。
主催	株式会社日本総合研究所

プログラム内容

※研修内容は予定ですので、変更の可能性があります。

- ・ 行動変容に役立つ「聞く」技術のご紹介（認定NPO法人ムラのミライ 平野貴大様）
 - ✓ ムラのミライの地域づくりと、当事者主体の方法論
 - ✓ 行動変容がうまくいかない理由
 - ✓ メタファシリテーション手法を用いた行動変容の事例
 - ✓ 事実を聞くことの意義とその方法
 - ✓ 相手が気づくために重要な〇〇とは
 - ✓ メタファシリテーションの限界
- ・ メタファシリテーション手法のデモンストレーション（認定NPO法人ムラのミライ 平野貴大様）
- ・ ヘルスコミュニケーションの視点を踏まえた手法の振り返り（株式会社日本総合研究所）

外部講師プロフィール

平野貴大

ムラのミライ職員/弘前大学大学院 医学研究科 総合診療医学講座

1986年青森県生まれ。自治医科大学医学部を卒業し、地域医療に医師として従事。研修医時代から保健医療福祉分野での多職種での勉強会を企画運営し、講師としても活動していた。保健医療福祉分野での「地域づくり」に興味を持ち、保健医療福祉の文脈での「地域づくり」アプローチだけでなく、地域おこし協力隊などが実施している観光・賑わいづくり・移住の文脈での「地域づくり」などを学ぶ中で発展途上国での地域開発手法としてのメタファシリテーション®に出会う。地域開発手法としてのメタファシリテーション®だけでなく、対人援助手法、情報収集手法としての発展性を感じ、学会報告・執筆活動・講演活動などを行ってきた。